ハイスピードの花いけバトル

１月２８日、高知ぢばさんセンターで開催された**花いけバトル**に西村和家さん（土佐山田町）が出場し、見事優勝しました。これは、『やさい・くだもの・花フェスタ』の中の催しで、会場に用意された数々の花卉（かき）を使用し、５分以内に観客の目の前で花を生け、その美しさや迫力を競うというものです。

優勝した西村さんはフローリストマリー（土佐山田町）に勤めて１７年目。会場の独特の雰囲気と、短時間で作品を仕上げる難しさに苦労しながらも、これまでに培った技術と豊かな感性で、見事な作品を作り上げていました。

▲ステージで花を生ける西村さん

１２月１６日、物部町の大栃商店街で、大栃中学校生徒が企画した**物部っ子祭り**が開催されました。

これは、地域の魅力を発信しようと企画されたもので今回が２回目。大栃中学校生徒のほか、大栃小学校と大栃保育園の児童・園児も参加し、出店や出し物などを盛大に行いました。

当日は、ユズのマーマレードや田舎ずしなど、地域の自慢の品々を販売。商店街は大勢の買い物客でにぎわい、元気な声を上げて売り歩く生徒たちから、次々と商品を買い求めていました。

生涯スポーツの振興に寄与

２月３日、高知市文化プラザかるぽーとで開催された平成２９年度生涯スポーツ推進県民会議で、山本邦秀さん（土佐山田町）と五百蔵隆さん（香北町）が**生涯スポーツ推進県民会議顕彰**を受賞されました。

山本さんは、平成１４年に弓道錬士、弓道六段を授与され、平成２１年には日本体育協会公認スポーツ指導員に認定されるなど、県内の弓道の普及、後進の育成に貢献してこられました。

五百蔵さんは、香北ジュニアバレーボールクラブ設立時から指導にあたり、平成１１年からは、アンパンマンカップ実行委員長として、スポーツを通した交流や、地域の活力を高める活動に尽力してこられました。

▲左から五百蔵隆さん、山本邦秀さん

１月２８日、土佐山田スタジアム周辺で、**香美市子ども会連合会ピッタリタイムマラソン大会**が開催されました。

当日は時折小雨が降るあいにくの天気でしたが、子どもたちはそれぞれが設定したタイムを目指して元気に走りました。

【大会結果】
- １位　松本晶太（大宮小）　タイム誤差－１秒
- ２位　宮地明日香（舟入小）　タイム誤差＋２秒
- ２位　依光芽音（舟入小）　タイム誤差＋３秒

第６回 体育文化奨励賞

２月１２日、香美市役所で**第６回香美市体育文化奨励賞表彰式**が開催されました。この賞は、体育や文化の振興を図るために制定されており、今回はスポーツで功績のあった５名と１団体に贈られました。

▲前列左から真門選手（高知工科大学卓球部）、依光選手、越智選手、浜田選手。後列左から、高知工科大学卓球部の都築選手、濵田監督。
※野村選手と小松選手は欠席。

高知工科大学卓球部＝昨年８月に開催された第５７回全国国公立大学卓球大会に出場し、団体戦で男女共に優勝、シングルス、ダブルスでも優秀な成績を収めました。女子団体は史上初の６連覇でした。

依光康行選手＝昨年１０月に開催された第１７回全国障害者スポーツ大会に出場し、卓球肢体不自由者男子１部で優勝されました。

越智尋翔選手＝昨年１２月に開催された第１２回オープントーナメント西日本硬式空手道選手権大会に出場し、一般男子有段軽量の部で優勝されました。

浜田尚実選手（岡豊高校）＝昨年８月に開催された平成２９年度全国高等学校総合体育大会に、弓道女子団体のメンバーとして出場し優勝されました。

野村成希選手（岡豊高校）＝第７２回国民体育大会の少年男子共通５０００㍍競歩で７位入賞のほか、平成２９年度全国高等学校総合体育大会の陸上男子５０００㍍競歩でも８位に入るなど活躍されました。

小松稔選手＝昨年１０月に開催された第７２回国民体育大会に、クレー射撃トラップ団体のメンバーとして出場し優勝されました。

▲左から２人目が山本信子さん、３人目が吉本圭子さん

２月６日、県立県民文化ホールで、高知県健康づくり婦人会連合会結成５０周年記念大会が行われ、山本信子さん（土佐山田町）に**健康づくり関係功労者知事表彰**が、吉本圭子さん（土佐山田町）に**高知県保健協会理事長感謝状**が、それぞれ授与されました。

山本さんは、平成１５年６月から高知県健康づくり婦人会連合会の副会長、監事、理事を歴任し、土佐山田町・香美市健康づくり婦人会の会長にも就任されています。吉本さんは、平成１３年から土佐山田町・香美市健康づくり婦人会で会長、副会長、理事を務めてこられました。

香北有機農業研究会が最優秀賞

１月１２日、中国四国農政局の岡山第二合同庁舎で、**中国四国農政局長表彰**の授与が行われ、有機農業の取り組みについて、香北有機農業研究会（構成組織：（有）大地と自然の恵み・（株）弥生ファーム）が最優秀賞を受賞しました。

香北有機農業研究会は、香北町の風土になじむ作物や品種を選びながら、農作物が生きる力を存分に発揮できるよう有機栽培に取り組んでこられました。技術体系の確立とともに、国内外からの研修生の受け入れや現地での農業指導等も積極的に行い、有機農業を通じた持続可能な農業の推進や、人材育成にも尽力されています。

これらの活躍が認められて、今回の受賞となりました。

◀代表の小田々智徳さん

▲社員の皆さんも笑顔でハイチーズ